

## 日新産商株式会社

ドラム缶用  
内装袋のハイオニア企画力  
自信有  
オンリー  
ワン技術  
メイドイン  
ジャパン  
量産  
対応

各種容器内装袋

業務  
内容

## 内装袋市場拡大に貢献

昭和37年に業界で初めてドラム缶用の丸底内装袋を開発し、当時の汚れると洗って再利用していたドラム缶再生の常識を覆した。洗浄工程を不要にして汚水や洗浄手間の発生を防ぎ、内袋の取り換えだけでドラム缶の中身を変更できるメリットが評価され、再生缶メーカーに広く浸透。今では塗料や接着剤、化粧品、食品など、液体物を扱う幅広い業界で採用される。創業時からのドラム缶の側面と底側下部の内面を覆う丸底内装袋や、側面と上下部の内面全体を覆って上部に口栓の付いたタイプ、液体や粉体用などのコンテナ向け内装袋など、多様なラインアップを展開している。

## 強み

国内外で  
多くの特許を保有

内装袋を使うドラム缶の再利用は、ドラム缶自体の水洗浄や高温焼き剥がし手法と比べ、ドラム缶へのダメージが少なく、洗浄コストも抑制できる。再生工程で汚水などが発生しないのも特徴で、昨今の環境意識の高まりが市場の右肩成長を後押しする。業界牽引役の日新産商は国内外で多くの特許を保有する特許戦略で、専業メーカーとしての地位を固め、国内で約2割のシェアを占有。ドラム缶を使用するユーザーの国内製造業が生産拠点を海外に移す中、日新産商も海外本格展開を見据えた事業戦略を検討中だ。

新設備  
の狙い高付加価値品の  
量産体制を構築

競合他社と差別化した高付加価値品の量産に向け、クリーンルーム活用前提の完全自動の新生産設備を開発した。多額の資金を投じ、大分県にある生産関連会社で同設備を中核とする生産ラインを新設し、平成27年4月に本格稼働させる計画。従来よりクリーンな環境で生産して異物混入を防ぎ、従来の目視検査も自動化して、品質レベルを高める。新たにQRコードの転写もを行い、トレーサビリティを可能にする。

これらで、要求条件が年々厳しくなる自動車や食品、医療分野向けへの展開を加速する。



簡易クリーンルーム製袋機

今後の  
展望新たなビジネスモデルに  
チャレンジ

大分県の生産関連会社の新ラインは主力製品の丸底内装袋を量産し、同袋の生産能力は従来比4・5倍の月産9万袋に高まる。一方、既存生産設備は需要拡大を見込む口栓付タイプなどの専用ラインに転換。丸底内装袋は他社へのODM（受託企業ブランド）製品企画・生産、供給も念頭にあり、大幅なシェア拡大を狙う。また顧客の海外シフトを鑑み、河田鉄也社長は「新設備自体を製品として、顧客の海外工場へのリース展開も考えている」とし、新たなビジネスモデルにもチャレンジする。

## COMPANY PROFILE

## 日新産商株式会社

大阪26

大阪26

当社の  
歴史

業界初のドラム缶の内装袋を開発し、常に先頭を歩んできました。気温や気圧などの外部環境の変化で発生する内部結露、不完全密閉などの事象を抑えたり、ドラム缶再生時の洗浄手間や汚水問題の解決を狙った製品です。市場は徐々に広がり、今では幅広い業界で採用されています。「ふとした発見から、誰も考えつけないものを形にし、喜びの言葉を頂くこと」が、日新産商の根幹です。

クリーンルーム内ドラム缶無人製造機を導入し販路を広げ、企業のコスト削減と環境保護により貢献できます。

代表取締役社長 河田 鉄也さん



■主な事業内容  
工業用包装資材の製造・販売

■主な取引先（納入先）  
ドラム缶再生業者、化学メーカー、樹脂メーカー、化粧品メーカーなど

住所／〒564-0041  
吹田市泉町  
2-36-27

TEL／06-6386-3421  
FAX／06-6386-3496  
創業／昭和37年7月  
設立／昭和37年7月  
資本金／1,000万円  
従業員／14名

<http://www.nisshin-sansho.com/>